

ゆすまいる

2024
春号
Number. 51

ゆすはらの smile さがし

越知面デイ



アロハ〜



四万川集活10周年記念イベント



東区サロンえくぼでお花見



もくじ

- 1〜3. 地域福祉活動計画アクションプラン進捗報告
4. 防災シリーズ第1回「今からやろう自分と家族と地域の備え」
5. 地域のとりくみの紹介／梶原町社会福祉協議会にセレナがやってきた！
6. 輝く梶原人！み〜つけたっ！
- 7〜9. ゆるり活動報告・ゆるりのおやつ時間
10. 令和6年度事業計画・当初予算
お知らせ 地域福祉系の職員紹介



梶原町社会福祉協議会
LINE公式
お友だち登録をお願いします！

登録は
こちら



地域福祉活動計画アクションプラン進捗報告

計画が策定されて1年目となる令和5年度は各地区で座談会中心に地域住民がアイデアを出し合い工夫を凝らして取り組みにつなぐことができました。

東区では、①思いやりでつながる（思いやり部会）②文化でつながる（文化部会）③防災でつながる（防災部会）の3つの部会に分かれて活動をスタートしました。

東区

① 思いやりでつながる（思いやり部会）

【東区認知症勉強会】を2回実施しました。あたたかい自然な見守りができるように理解者を増やしていくことを目的に認知症の症状や対応についての勉強や事例検討、日頃の悩みや実体験の共有をしました。勉強会を実施したことで「心が救われた。」という感想もあり、2回目の勉強会では体験談のお話を聞いた後に『地域でできる見守り』についてグループワークを行いました。地域でできることを難しく考えてしまう方も多かったため今後も研修会を行い、無理をせずできる地域の仕組みづくりを検討していきます。



③ 防災でつながる（防災部会）

【東区災害VC勉強会】を実施しました。災害VCの運営の流れについて学び、参加者からも「このような研修会を定期的に行ってほしい。」という感想もあり、今後も継続していくことが決まりました。

② 文化でつながる（文化部会）

郷土文化の継承や若年層・移住者と交流ができるような企画を検討しています。

越知面区

①各種団体による意見交換会や研修会を開催し、地域に関する共通理解を深める

②挨拶やマナーに気を付け、お互いに助け合いながら、周りの方へ関心を持って生活することを一人ひとりが心掛ける

③集落活動センターの活動を通し、住民の負担軽減や安心して暮らせる集落づくりを行う

地域福祉活動計画策定メンバーを更に拡充し、集落づくり委員会を立ち上げ委員14名と共に座談会を7回実施しました。区・部落・各種団体とテーマを3つに絞り、それぞれのあり方について思いや意見を出し合い、地域の現状をまずは共通認識をすることから実施しました。

そこで『世代間の融和を図る』ということが共通課題として挙げられ、区においてイベントを開催することで老若男女の交流や食事の準備調理を共に行うことで後継者作り等にもつなげたいとの思いから令和6年3月30日（土）春まつりを実施することを計画し実施に向け話し合いを行いました。

令和6年度からは、越知面区の将来的な分析を踏まえ持続可能な地域社会総合研究所所長：藤山浩氏の助言を受けながら、地域で取り組めることを話し合っています。



夏まつりのようす



集落づくり委員会

若者⇄高齢者
歩み寄り

①地域で住民同士が支え合える仕組みづくり

四万川区では日ごろ、地域住民からよく聞く困りごとを座談会で共有し、その中でも【認知症や介護が必要になっても安心して暮らせる地域】、【不燃物を出したいが動かせず、収集場所に持っていきなくて困っている】という2つのテーマを選定しました。

令和6年度はこのテーマについて地域で取り組めることを話し合っています。

四万川区

②地域の集いの場を通して地域のつながりを深めたい

令和6年3月25日（月）で集落活動センター四万川が10周年を迎えるということで、座談会参加者より『集活10周年イベントを開催したい！』とイベントを企画し、令和6年3月24日、旧四万川小学校にて子供から高齢者までが集い、四万川〇×クイズや簡単なスポーツで体を動かし健康づくりに取り組みました。

お昼ご飯は、キジ飯とキジ汁などの地元食材のバイキングを楽しみ世代間交流の場となりました。



令和6年度からは脱藩マラソンに合わせてイベントをしたい！！とご意見があり実施に向けて計画しています。



西区

①災害時の連絡網を各部落で作成

西区では、連絡網を各部落で作成できているのかの確認を行い、連絡手段の体制整備を行うと共に連絡網の更新などを行いました。

また、防災担当を各部落に1名～2名選出しLINEグループを作成しました。このLINEグループでは緊急時などの連絡や、災害について情報共有を行う手段として活用しています。

令和5年度8月27日には広野生涯学習館にて起震車体験を実施し、起震車体験と合わせて役場の危機管理係より避難時の注意点、防災バッグの説明がありました。また、学習館横の備蓄倉庫の見学も行い、個人や地域の災害時の備えについて知ることができました。

引き続き、連絡網作成や図上訓練など、災害について考える座談会などを設けていく予定です。



▲起震車体験



▲防災バッグ説明

②住民が安心して過ごせる場所作りと 共に見守りあえる地域を作る

西区では【ふらっと西区】をはじめ、今年度はクリスマス会や、下西の川の【あそばん会】にて大人の遠足、上松の百歳体操の開始など、地域での見守りの機会が増えてきました。

今後も集いの場を通じた地域の繋がりを深めていきます。



▲あそばん会遠足の様子

吉村虎ノ

①防災について

人口が一番少ない区として、自助・共助の防災意識をより高めていけるようにと、鷹取の家にて令和5年7月16日に防災訓練が実施されました。訓練では備蓄品の確認、仮設トイレの設営、避難時の留意点等についてマニュアルを用いて確認が行われました。

初瀬区

②年に一回催し物などの企画を開催

コロナの影響で、中止となった敬老会にかわって、初瀬区忘年会を盛り上げたいとの意見からビンゴ大会が開催されました。人口が減って、住民同士のつながりが希薄になってきているとの声もある中で、催し物を通じて和気あいあいとした交流の機会となりました。



③伝統芸能・文化の復活

今後の担い手の事を考えて、祭事の記録も遺したいとの意見が新たに出ました。令和6年度から、各部落の祭事を記録し、ファイルを作成する予定です。



松原区



①粗大ごみ・不燃物の地域収集の継続

住民同士の支え合いとして発足した粗大ごみ・不燃物収集が今後も維持継続していけるよう、地域の実情に応じた、収集の形について、地域住民の皆さんと一緒に考えていきます。



▲しめ縄作り（中平・大向）

②伝統文化の継承やイベントの復活

令和5年11月12日、集落活動センターあいの里にて、紅葉まつりが復活しました。来てくださる方々に楽しんでもらおうと、松原区の皆さんが知恵を出し合い、お祭り当日は企画された催し物を目あてに、様々な世代の住民が集まりました。コロナ禍ではできなかった世代間交流が、お祭りの賑わいと共に復活しました。



▲紅葉まつり

今からやろう **自分** と家族と地域の備え



防災シリーズ 第1回



日ごろから災害に遭遇した時のために備えておくことで、被害の軽減につながります。いざという時に慌てず適切な行動ができるように、現在の自分の振り返りも含めチェックしてみましょう。

☐ 南海トラフ地震に向け備えは十分である。



- ☐ 災害時にすぐ持ち出せる袋(リュック)の準備をしている。
- ☐ 袋の中には水、非常食、懐中電灯、アルミシート、ウエットティッシュなどが入っている。
- ☐ 乳幼児や高齢者がいる家庭では普段から必需品を少し余分に買うようにしている。

- ☐ 買い置き食品は賞味期限の確認をしている。
- ☐ 自宅の耐震は基準を満たしている。
- ☐ 安否確認方法には不安を感じていない。



- ☐ 地震が起きたらまずは自分の命を守ることを最優先にする。
- ☐ 津波が来る恐れがある場合は山の上の高台など高いところに避難するようにしている。
- ☐ 避難経路はおおむね想定している。
- ☐ 避難所(集会所)までの所要時間を確認できている。

徒歩	自動車
分	分

—シェイクアウト訓練—



1
しゃがむ



2
かくれる



3
まつ

地域のトリクミの紹介

越知面区

100歳のお祝いをしました

こんなに祝ってもらって嬉しい！来年もまた祝ってほしいね。



令和6年2月8日の越知面ディで、山内マルミさんのお誕生日会が行われました。なんと、今年で数えの100歳になります！最高齢の老人クラブ会員ということもあり、梶原町老人クラブの副会長もお祝いに駆け付けました。たくさんの方に祝ってもらい、マルミさんも嬉しそうでした。

東区

福笑いで大笑い

令和6年1月11日の東区サロンえくぼで、「なにかお正月っぽいことをしたいね〜。」と、スタッフが作った福笑いをみんなでやりました。



1つ1つ愛嬌のある顔ができました♪ みなさん大笑いでした！！

四万川区

茶や谷 お誕生日会に参加しました



お誕生日の近い片重美和子さん、永尾祐さんお二人の誕生日会に参加してきました。茶や谷では定期的

お誕生日会を行い、みんなでお祝いしています。

「夏生まれも多いから次は夏にしようね〜。」と和やかで素敵な時間をみなさんと過ごしました。

百歳体操も継続して行っており、ポッチャの練習も計画中です！



四万川区

東川婦人部 地域の集いの場 再開！！



「コロナも落ち着いて、そろそろ何かしたいな〜。」と東川婦人部が集まり、令和5年12月28日に

年越しそばと、かんころもちを作りました！和気あいあいとした楽しい雰囲気が年末にぴったりでした。

また、新しくセラバンド体操（ゴム体操）も取り入れており、健康づくりに励んでいます。



梶原町社会福祉協議会に

セシナ がやってきた



高知県競馬組合地域福祉振興基金助成事業を活用し、福祉車両を購入しました！



CHECK 01

スペースが広く
乗り心地が
いいです。



CHECK 02

車いすを含めて6人乗
りになります。



CHECK 03

電動リフター付きのため、
車いすに乗ったまま乗り降
りができます。



車両の貸出しも行っておりますので、まずはご相談ください。（要件あり）

輝く梶原人！み～つけたっ〇〇！

in 初瀬



初瀬本村部落で鮎漁の名人として有名な宮本幸藏さんに鮎漁を始めたきっかけと元気の源を教えてくださいました。

みやもと こうそう

宮本幸藏さん（71）1951年12月生まれ

初瀬本村出身。県内にて林業（山師）の仕事に20歳頃から65歳まで従事する。現在は、趣味の鮎漁や花木の栽培を楽しまれている。初瀬本村部落代表として、地域の活動にも取り組まれている。

鮎漁との出会いは20歳頃！

鮎釣りは、15歳頃から始めたがよ。でも、20歳頃に川砂利を集めよう作業員らが、網漁をしゅうのを見て自分もやってみようと思うたがね。そしたら大変やった(笑)。網は重いし、鮎も獲れん時は全然獲れんきね～(苦笑)。

夜の方が鮎も網が見えんなるき、ようけ獲れるがよ。一度に100匹ばあ獲れちゅう時もあるきね。けど他にも獲りゆう漁仲間がおるき、自分は昼しか（鮎漁を）やらんが。夜はそりゃ沢山獲れるけど、獲れすぎたら他の人が獲れんなるきね。



▲ 鮎漁の様子



▲ 獲れた鮎の様子 6



▲ 大切にしている盆栽コレクション

漁で大事なものは時の運

（鮎漁をしていて）今日は獲れんかったっていう人がおったら、言うちやるがよ。「パチンコと一緒に。今日出んかっても、明日はようけ出るかもしれんで。」って、まあ時の運やね（笑）

元気の源は地元の親友(とき)

今年はこれだけ（用事を）やれてたと思っても、来年も同じように出来るろうか、ちょっと不安になるけね。年々元気になってはいかんけど、周りに親友(とき)が4～5人おるけ、バカ言いながら一緒に草を刈ったりしよったら、不安はあっても楽しいね。元気の源よ。自分だけやなくて、周りの皆も同じように大変やき、やれる内はやろうって思えるがよ。

ケアハウスゆるり活動報告

春



夏



チャリティーコンサートのお手伝い。皆で毎日せっせと作業を行いました。喜んでくれるといいなあ。



山菜のお寿司づくり。
皆さんさすがの腕裁き！
美味しくいただきました。



夏祭り。お祭りメニューに射的とコロナ感染も落ち着いてやっと夏を感じることができました。

秋



冬



毎年恒例のおから入りのお餅つき。
やっぱりお正月はお餅です！



敬老会に子ども園との交流会。皆さんの子どもを見る時の笑顔は格別です。



新年会での昔遊び。
懐かしさのあまり
ヒートアップしていました。

コロナウィルスも5類に引き下げられ以前と同様にはいきませんが、コロナ感染予防対策を行いながら交流することができ皆さんの笑顔が増えた年となりました。2024年も皆様が少しでも笑顔で過ごす時間が増えるよう、職員一同努めて参りたいと思います。本年度もよろしくお願いいたします。

デイサービスゆるり活動報告



ボランティアによる腹踊り、日本舞踊、フラダンス。
歌に踊りに大盛り上がりです！



敬老会では、デイ職員による「桃太郎」演劇をしました。



クリスマスには、ゆるり職員と
歌のセッション♪  



節分には、6歳の幼稚園生が
来てくれて、ひいらぎをくれました。 

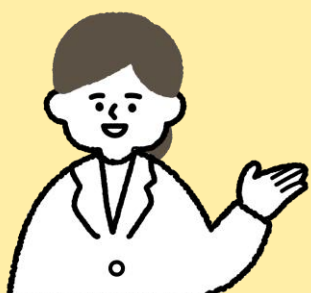
ゆるりのおやつ時間



ご利用者のご家族様より「安納芋」をいただきスイートポテトとしておやつに提供しました。



皆で食べてや〜



國元管理栄養士

安納芋は、さつまいもの中でもダントツの甘味があり、表面が赤く、粘質性で水分が多いです。加熱するとさらに糖度が増すため、ラップをして電子レンジで加熱や、オーブンで焼くだけでも十分美味しくたべられます。

調理



1

オーブンで蒸します。



2

水分が多く小麦粉を足しました。



3

鉄板に入れて焼いていきます。

どきどき



4

無事完成！

みんなで美味しくいただきました！



令和6年度 事業計画・当初予算

事業計画

● 法人運営事業

理事会・評議員会の開催

● 相談援助活動

日常生活自立支援事業
生活困窮者自立相談支援事業
法人成年後見事業
生活福祉資金貸付事業
指定特定相談支援事業
指定障害児相談支援事業

● 地域福祉の推進

安心生活基盤構築事業
地域福祉コーディネーター活動
○ 地域活動
（困り事の早期発見と課題解決）
○ 集いの場への参加
（地域力の維持と継続への後方支援）
福祉教育
○ 梶原学園高齢者疑似体験
赤い羽根共同募金助成事業
○ 地域活動推進事業
○ 無料法律相談

● 住民参加の福祉活動の推進

つむぎあい(地域支えあい活動)
リユースゆすはら(休眠資源活用事業)
おげんき発信(高齢者の自発型安否確

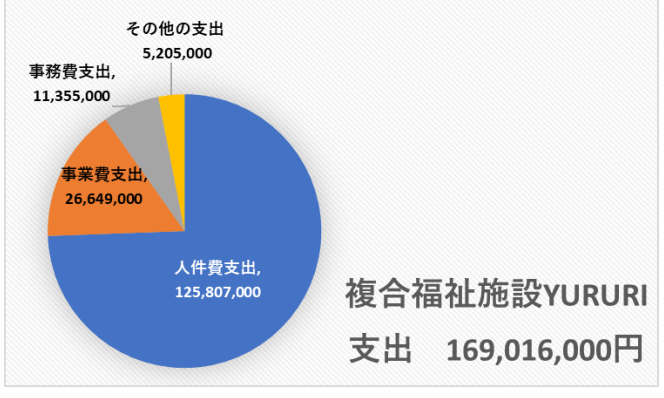
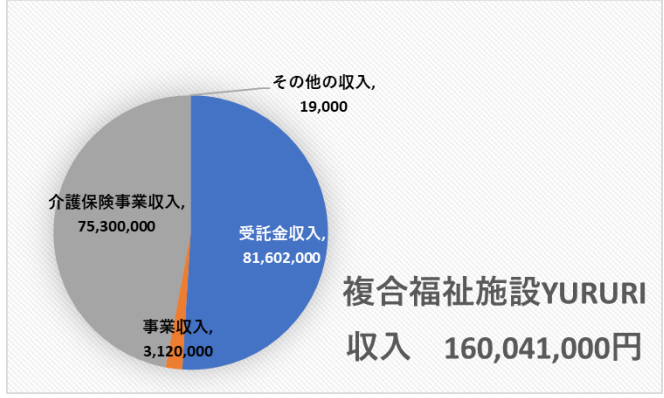
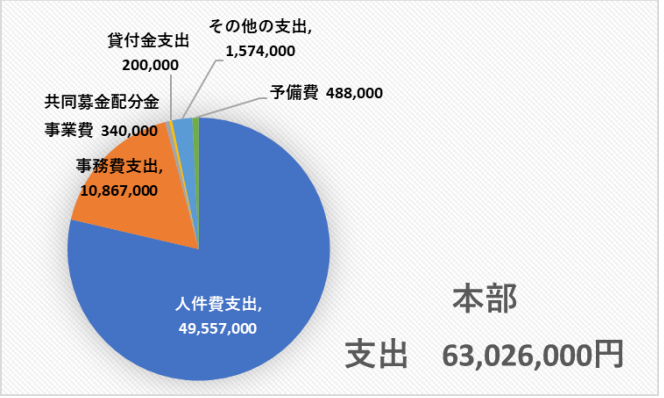
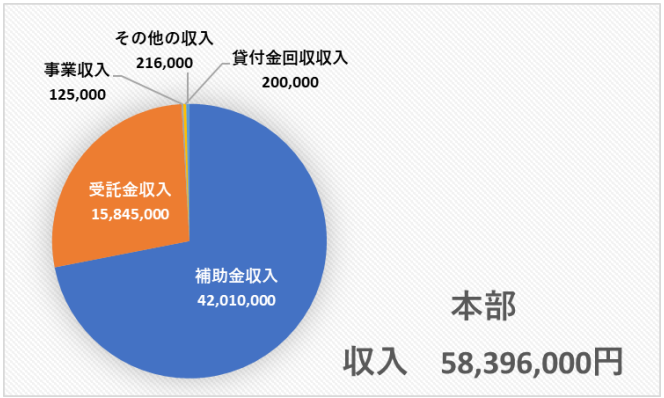
● 各種団体の活動支援 団体事務局

梶原町老人クラブ連合会
梶原町身体障害者連盟
梶原町共同募金委員会

● 施設運営 複合福祉施設 YURURI ゆすはら

デイサービスゆるり
○ 食事・入浴・レクリエーション活動
○ 健康チェック・機能訓練
ケアハウスゆるり
○ 食事・入浴・レクリエーション活動
○ 健康管理・機能訓練
高齢者生活支援ハウス
○ 生活援助
フィットネス・町民交流室の運営管理

当初予算



地域福祉系の職員紹介

気軽にお声がけください。

前田 京子
(まえだ きょうこ)

東区・初瀬区
生活困窮者自立相談支援事業 担当

川田 沙月
(かわだ さつき)

四万川区・越知面区 担当

西村 悠
(にしむら はるか)

西区・日常生活自立支援事業
指定障害児相談支援事業 担当



玉川 富美恵
(たまがわ ふみえ)

主任

畠山 麻衣
(はたけやま まい)

松原区・老人クラブ連合会 担当

中越 萌
(なかごし もえ)

身体障害者連盟
リユースゆずはら 担当

家計のやりくりが
うまくいかないわあ～

地域で楽しい集まりを
作りたい！！

歌が得意！！
いつか披露したいなあ

社協ってどんなところなの？



発行元：社会福祉法人 橋原町社会福祉協議会 住所：高知県高岡郡橋原町川西路 2321-1

発行責任者：樋口 益也 電話：0889-65-1235 ホームページ：<https://www.yusuhara-shakyo.jp/>